

舞台芸術公園からのお便り ～自然と芸術とともに～

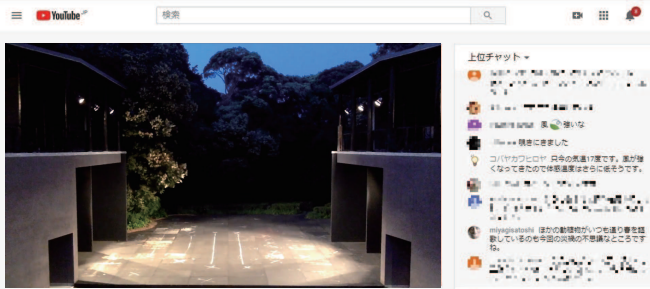
2020年度
NO.1

日頃より舞台芸術公園をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

今年の春は、日本平桜マラソンが中止となり、園内で元気な声援はきこえませんでした。桜がきれいに咲きました。GWには「ふじのくにせかい演劇祭 2020」の中止にかわり「くものうえせかい演劇祭 2020」を開催しました。「演劇によって地域と世界が直接つながり交流する」ことを、オンラインなど可能な手段によって実現し、様々な関係団体との連携を深めることができました。ここ舞台芸術公園もさまざまなオンラインコンテンツの撮影場所となりました。SPAC- 静岡県舞台芸術センターは引き続き、県民の皆様から親しまれる公園を目指し、管理運営して参ります。皆様のご来園を心よりお待ちしております。

《舞台芸術公園でのイベントなどの報告》

●『おちょこの牽持つメリー・ポピンズのいない劇場』 4月



公演が行われる予定だった3日間、公演の時間帯に野外劇場「有度」のありのままの姿をライブ配信しました。配信中のチャットでは314名（のべ）の方と交流できました。だんだんと日が暮れ、夕闇が訪れる野外劇場を眺めていると、鳥の声や風の音が聞こえてきました。

●「今日の五感。」 4月 - 5月



俳優が今日感じたこと、見たこと、聞いたことを動画にして配信しました。舞台上では出会えない、俳優自身が「いまここにいます」、ありのままの姿。園内各所でも撮影されました。

●ほぼボツ企画!?宮下泰幸の『ひとり天真五相!!』@舞台芸術公園4月



俳優・宮下泰幸が園内の知られざるポイントを巡り、SPACのトレーニングの一部である「天真五相」で自然と一体化する様子をお届けしました。見て、とっても元氣になりました!

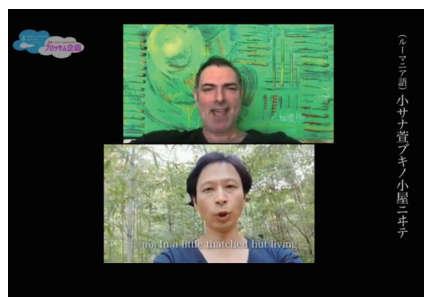
●コロナにまけるな!!～免疫力アップのうた～ 4月



新型コロナウイルスに感染しないための健康管理について楽しく歌った動画を作成しました。写真中央上は園内で撮影されたもの。まるで幻想的な森の中!

たくさん眠って たくさん笑う

●バーチャル劇団 遠座来朗人『雨ニモマケズ』5月



今回演劇祭に参加する予定だったカンパニーの俳優に呼びかけ、バーチャル上で出来ることを模索する「バーチャル劇団」を立ち上げました。距離を越えた奇跡のコラボが実現!写真下は、園内の竹やぶで撮影されました。

【舞台芸術公園～徒然日記～】

“ささやかな恵み”

初夏、草いちごが浅緑の柔らかな葉を伸ばし、白いふっくらとした五弁の花を咲かせ生き生きしている。ほどなくして粒粒の赤い実が姿を見せるだろう。植え込みの中では地下茎をめぐらし、茎には棘を携えたくましい。晩秋には冬いちごが同じような赤い実をつける。ちょっと摘んで食べてみてはいかか。劇場で培う感性とは別のそんな心があっても、と思う。(Y. A)



静岡県舞台芸術公園は、自然と芸術が共存する公園です。SPAC- 静岡県舞台芸術センターの活動を通して、演劇やダンスなどの新しい舞台芸術作品を生み出し、静岡から全国へ、そして世界に向けて情報発信していく舞台芸術の拠点となり、また国際的にも地域にも文化交流のシンボルとなることを目指しています。



@_SPAC_



@_spac_hirasawa



SPACshizuoka



shizuokaperformingartspark



spacshizuoka



World Theatre Festival on the Cloud ※本号で紹介したオンラインコンテンツの一部は左記 YouTube チャンネルよりご覧いただけます。

発行 SPAC- 静岡県舞台芸術センター (公園管理スタッフ)

お問い合わせ 〒422-8003 静岡市駿河区平沢 100-1 舞台芸術公園 本部棟まで

事務局 TEL: 054-203-5735 FAX: 054-203-5737

芸術局 TEL: 054-208-4008 FAX: 054-208-4014

This theatre is Your theatre

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

スペースP = 静岡県舞台芸術センター